

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	保健福祉部	
関係部	-	-
	-	-

基本施策	I-1 健康・福祉サービスを強化する
個別施策	① 高齢者支援体制の整備
個別施策の方向	高齢者が安心していきいきと暮らすまちを目指して、健康長寿日本一を目指した取組など、健康づくりや安心して暮らすための環境づくりに取り組む。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	96,815	人件費	31,489	事業コスト	128,304				
	事業費内訳	国庫支出金	6,475	県支出金	64,703	地方債	0	その他特財	12,732	一般財源	12,905
H28年度	決算	事業費	203,782	人件費	36,901	事業コスト	240,683				
	事業費内訳	国庫支出金	19,958	県支出金	146,877	地方債	0	その他特財	20,915	一般財源	16,032
H29年度	決算	事業費	71,175	人件費	35,498	事業コスト	106,673				
	事業費内訳	国庫支出金	21,890	県支出金	5,919	地方債	0	その他特財	22,116	一般財源	21,250

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	23.8%	24.8%	1.0%
1) 高齢者の福祉			

平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
提言	<p>高齢者の支援体制を構築していくためには地域や市民の手を借りることが重要であり、それが支えあうまちにつながると考える、また、高齢者支援に係る予算は今後ますます多くなってくるものとする。より地域に密着したコミュニティを活用しながら、利用者からの評価も含め費用対効果検証を行い事業を進められたい。</p> <p>個別施策「健康づくりの推進」と連携を図り、事業を進められたい。</p>	

取組概要	<p>「ICT高齢者いきいき健康アップ事業」、「運動推進事業」、「いきいき・元気はつらつ運動事業」、「シルバーリハビリ体操指導士出前体操教室」、「出前体操教室（65歳以上の介護予防教室）」「介護支援ボランティア事業」、「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業」、「地域密着型サービス整備費等補助事業」などを適正に実施し、地域包括ケアシステムの深化に取り組む。</p>
成果	<p>「運動推進事業」、「いきいき・元気はつらつ運動事業」、「シルバーリハビリ体操指導士出前体操教室」など、介護予防・日常生活支援総合事業の推進に努め、高齢者の支援体制は概ね順調に整備されている。</p>
今後の課題	<p>今後は、社会福祉協議会と連携を図りながら、介護予防・日常生活支援総合事業に位置づけられた「サロン」を順次開設し、高齢者等が健康で住み慣れた地域で安心して暮らせるための居場所づくりを整備する必要がある。</p>
改善目標	<p>「介護支援ボランティア事業」や「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業」については減少傾向にあるため、広報紙やパンフレット等で事業の周知を図り、事業の拡充を目指す</p>

自己評価（所管部署評価）	
自己評価記述	<p>高齢者の健康づくりや居場所づくりなど介護予防事業の推進を図ることができた。 また、特別養護老人ホームの待機高齢者の削減を図るため、高齢者福祉計画に基づき、介護保険施設の整備を行うことができた。 今後も、引き続き高齢者の支援体制の整備を図り、地域包括ケアシステムの深化に取り組む。</p>